



# 2019年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月10日

上場会社名 株式会社アイケイ  
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括  
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 飯田 裕  
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年5月期第1四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第1四半期	4,790	13.0	61	△70.4	66	△68.6	38	△74.4
2018年5月期第1四半期	4,239	33.4	208	260.9	211	374.8	150	345.0

(注) 包括利益 2019年5月期第1四半期 38百万円 (△74.5%) 2018年5月期第1四半期 152百万円 (350.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第1四半期	5.15	—
2018年5月期第1四半期	80.73	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第1四半期	6,591	2,488	37.7
2018年5月期	6,288	2,524	40.1

(参考) 自己資本 2019年5月期第1四半期 2,488百万円 2018年5月期 2,524百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年5月期	—	—	—	—	—
2019年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,851	6.2	231	△55.5	239	△54.4	155	△58.3	20.73
通期	19,947	8.8	831	△7.5	846	△6.0	571	△11.0	76.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

## ④ 修正再表示

: 無

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年5月期1Q	7,808,000 株	2018年5月期	7,808,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年5月期1Q	330,900 株	2018年5月期	330,900 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年5月期1Q	7,477,100 株	2018年5月期1Q	7,452,400 株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 2018年5月期1Qの期中平均株式数(四半期累計)の株式数は、当社が2017年12月1日及び2018年4月1日付で、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますことから、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入社可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

(日付の表示変更について)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策の変化による世界経済への影響懸念がありますものの、国内企業の業績は堅調に推移しており、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、個人消費は十分に回復しない中、企業業績を支える人材確保も困難さを増しており、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第1四半期連結累計期間におきまして、メーカーベンダー事業では、TVショッピングを起点としたマルチチャネル販売を推進しており、TV放映枠を拡大しTVショッピングルート(B to C)での健康関連商品の販売に注力いたしました。また、各販売チャンネルにおいて、自社開発品(PB商品)の拡販に注力いたしましたとともに、海外子会社との連携をはかり、自社開発化粧品「LB」の海外での拡販に向けた準備を整えてまいりました。

SKINFOOD事業では、個店強化を目的としまして、お客様の顧客化、さらにファン化を図るべくLINE会員数の増加に取り組んでまいりました。出店及び退店につきましては、当第1四半期連結累計期間における新たな出店は、直営店舗として梅田エスト店を出店いたしましたことから、直営店21店舗(前年同期末20店舗)、FC店2店舗(前年同期末3店舗)の23店舗(前年同期末23店舗)となりました。

ITソリューション事業では、チャットシステム「M-Talk」(エム トーク)をLINEとの連携が可能となり、多様なニーズにお応えできる体制となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,790百万円(前年同四半期比13.0%増)、営業利益61百万円(前年同四半期比70.4%減)、経常利益66百万円(前年同四半期比68.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円(前年同四半期比74.4%減)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

## &lt;メーカーベンダー事業&gt;

売上高は4,492百万円(前年同四半期比13.7%増)となり、営業利益は58百万円(前年同四半期比64.4%減)となりました。

## &lt;SKINFOOD事業&gt;

売上高は245百万円(前年同四半期比0.0%増)となり、営業利益は10百万円(前年同四半期比78.2%減)となりました。

## &lt;ITソリューション事業&gt;

売上高は52百万円(前年同四半期比20.4%増)となり、営業損失は8百万円(前年同四半期は3百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ308百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「商品及び製品」が399百万円、「その他」が40百万円それぞれ増加し、「受取手形及び売掛金」が157百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、投資その他の資産の「その他」が5百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円増加しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ283百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が106百万円、「短期借入金」が491百万円それぞれ増加し、「未払法人税等」が187百万円、「その他」77百万円、それぞれ減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ54百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が57百万円増加したことによります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は4,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が36百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきまして、2018年7月10日に公表いたしました予想から修正しております。詳細につきましては、2018年10月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	560,630	582,249
受取手形及び売掛金	2,678,418	2,520,977
有価証券	127,219	130,913
商品及び製品	1,523,518	1,922,985
原材料及び貯蔵品	10,269	11,376
その他	424,477	464,504
貸倒引当金	△187	△197
流動資産合計	5,324,348	5,632,809
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	175,942	181,637
土地	80,216	80,216
その他(純額)	66,582	61,466
有形固定資産合計	322,741	323,321
<b>無形固定資産</b>		
のれん	48,841	42,843
その他	117,918	123,206
無形固定資産合計	166,759	166,049
<b>投資その他の資産</b>		
その他	486,260	480,520
貸倒引当金	△11,149	△11,149
投資その他の資産合計	475,110	469,370
固定資産合計	964,612	958,741
資産合計	6,288,960	6,591,551
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,431,624	1,537,869
短期借入金	208,967	700,000
1年内返済予定の長期借入金	422,052	437,689
未払金	606,962	570,044
未払法人税等	217,567	29,829
賞与引当金	45,328	12,720
役員賞与引当金	—	5,350
返品調整引当金	19,966	20,552
その他	223,084	145,467
流動負債合計	3,175,551	3,459,522
<b>固定負債</b>		
長期借入金	328,295	385,399
退職給付に係る負債	96,166	99,933
役員退職慰労引当金	142,700	144,823
その他	22,113	13,605
固定負債合計	589,275	643,761
負債合計	3,764,827	4,103,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	404,089	404,089
利益剰余金	1,753,823	1,717,586
自己株式	△36,233	△36,233
株主資本合計	2,523,428	2,487,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704	1,075
その他の包括利益累計額合計	704	1,075
純資産合計	2,524,133	2,488,267
負債純資産合計	6,288,960	6,591,551

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)
売上高	4,239,664	4,790,380
売上原価	2,402,191	2,551,966
売上総利益	1,837,473	2,238,413
販売費及び一般管理費	1,628,724	2,176,701
営業利益	208,749	61,712
営業外収益		
受取利息	441	754
受取手数料	2,373	552
為替差益	—	3,081
その他	1,360	1,599
営業外収益合計	4,176	5,986
営業外費用		
支払利息	1,166	1,247
為替差損	94	—
その他	146	1
営業外費用合計	1,406	1,248
経常利益	211,519	66,450
特別利益		
関係会社株式売却益	1,492	—
特別利益合計	1,492	—
特別損失		
固定資産除却損	2,901	—
特別損失合計	2,901	—
税金等調整前四半期純利益	210,110	66,450
法人税等	59,693	27,917
四半期純利益	150,416	38,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,416	38,533



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	150,416	38,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,937	371
その他の包括利益合計	1,937	371
四半期包括利益	152,354	38,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,354	38,905
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

(取引先の民事再生手続(韓国の回生手続)開始申立て)

当社の取引先であります韓国のSKINFOOD Co., Ltd. (当社SKINFOOD事業のフランチャイザー)が2018年10月8日にソウルの裁判所に民事再生手続開始の申立てを行っております。

1. 当該取引先の概要

(名称) SKINFOOD Co., Ltd.

(所在地) Daeryung Seocho Tower Bldg., 327, Gangnam-Daero Seocho-Gu, Seoul, Korea

(代表者) Cho Yun Ho

2. 当社との関係

当社は韓国のSKINFOOD Co., Ltd. とSKINFOOD化粧品の小売店舗展開にかかるフランチャイズ契約を締結しており、同社から商品を仕入れております。

当該フランチャイズ契約に基づき、当社は日本国内において、SKINFOODの直営店舗21店舗及びフランチャイズ店2店舗の合計23店舗を運営しております。

3. 当該取引先に対する債権等

債権 仕入にかかる前渡金 4百万円

資本関係はなく、債務及び債務保証等はありません。